



懸け橋

練馬区立石神井西中学校
学校だより 第2号
平成30年5月17日
校長 松丸 晴美

「たかが英語、されど英語 英語が話せない日本人？」

風薫る五月。校庭の木々の緑が目眩しく映える季節になってきました。今月末に行われる運動会に向けて真剣に練習する生徒たちの澁刺とした声が、五月のさわやかな風に乗って聞こえています。当日の好天を願うばかりです。

さて、本校の教育の大きな柱のひとつに「国際人となる資質の育成」があります。学校では、目的に応じた教育活動を通して①日本の伝統・文化の理解、②他国の人や文化を尊重し、協力して物事にあたる力の醸成、③英語でコミュニケーションを図ろうとする意欲や能力の伸長を目指しています。

具体的には、留学生や外国人アスリート、国際社会で貢献活動をしている企業やNPOの方をお招きした講演会を開催したり、授業で世界の国調べを行ったり、校外学習や修学旅行で外国人へのインタビューを体験するなどの取り組みをしてきました。そうした活動を通して、海外で学ぶことや仕事することに興味や憧れを抱く生徒や英語に通じた喜びを体感する生徒が、ここ3、4年の間にとても増えていることは生徒アンケートからも実感できます。

しかし、教科としての「英語」となるととたんに意欲や楽しさが半減してしまう生徒もいるようです。

今年度から小学校では、3・4年生で外国語活動が、5・6年生で教科としての「外国語科（英語）」の学習が始まりました。

現在中学1年生が使用している英語の教

科書は、アルファベットABCの語順と文字を覚えることから始まっていますが、これからは、当然、中学校の英語の授業も変わらざるを得ないでしょう。

私が中学生の頃から長い間、英語の授業は、読み書きや文法に重点が置かれていましたが、昨今は「話す」ことに比重がおかれ、今後はさらに、日常の様々な場面を想定して英語で会話する力の向上が求められるのではないかと思います。

オリンピック・パラリンピック東京大会を2年後に控え、外国からの観光客は増え続けています。先日見たテレビ番組で、日本を訪れた観光客は、日本人のマナーや店員の接客態度の良さ、清潔で安全な街、公共交通網や自動販売機などのインフラの整備などを高く評価する一方で、残念なことベスト3に「日本人は英語が話せない」ことが挙げられていました。確かに私も、中学校から大学卒業までの10年間英語を学んできましたが、英語で会話をする自信はありません。

英語教育を巡っては様々な議論がありますが、やはり私は小さい頃から英語に慣れることが大切なのではないかと考えています。

学問で大切なのは英語ばかりではありませんが、世界の共通語「英語」は国際人には欠かせないコミュニケーションツールだと思います。

これからのグローバル社会で活躍することを期待している本校の生徒たちには、頭の柔らかい中学生時代に英語に親しみ、ネイティブスピーカー（ALTのロッド先生など）との会話を通して、英語でのコミュニケーション能力を磨いてほしいと願っています。

上級生から1年生へ 西中紹介

生徒会担当 佐藤 由乃

中学校には、本当に様々な活動があります。その中でも、日常的に行われる活動が委員会活動と部活動です。1年生にとって、先輩と一緒に活動する委員会活動や部活動は楽しみでもあり、大きく成長できる場の一つです。4月12日(木)、入学したばかりの新生に、2、3年生の先輩方がどのような委員会や部活動があるのかを紹介する「西中紹介」が行われました。委員会の紹介は生徒会が中心となり、部活動の紹介は部長会が中心となって進行了。委員会の紹介では、まだ右も左もわからない1年生に、小学校の頃との違いやどのようなやりがいを感じるかなど、先輩の温かさが伝わってくるわかりやすい説明でした。それ以上に1年生が興味をもつ部活動紹介は、各部が様々な工夫をするとともに、部活動の楽しさを存分に伝える内容でした。1年生にとっても、中学校生活を知る場となりましたが、一方で、2、3年生にとっては、“先輩”としての自覚をもつ、良い機会となっていました。新しい風が入り、委員会活動も部活動も、これまで以上に活発になりそうな予感がする、そんな西中紹介でした。



1学年主任 志村 美智子

1年生にとって、西中紹介は良い意味で刺激的だったようです。司会進行も先輩方、生徒会や委員会の説明も先輩方、そして部活動紹介も先輩方が行い、生徒がつくる生徒の会というのを目のあたりにして目を輝かせていました。特に、部活紹介では先輩たちの工夫をこらしたパフォーマンスに思わず身をのりだして楽しんでいました。

入学してからずっと緊張していた中学校生活を先輩の力で解きほぐしてくれたひとときでした。そして、次に見えた瞳の輝きは、こんな素敵な先輩になりたい、こんな楽しそうな部活動に入りたいという憧れです。その姿を見ると、やはり生徒は生徒によって成長するのだなと思いました。

来年、成長した1年生たちが、今度は先輩の立場で新生たちを立派に導いてくれるよう、我々教員も全力でサポートしたいと思います。



5月2日(水)の5、6校時に、離任式が行われました。平成29年度末に離任された教職員9名のうち、5名の方に参加していただきました。離任された先生へ代表生徒が「お礼のことば」と花束を贈り、離任された先生から本校生徒への思いを述べていただきました。厳かな雰囲気の中、先生方の温かい言葉と楽しい話があり、とても素晴らしい式でした。離任された教職員のお話の一部を紹介します。

<p>英語科 旧1学年 三岡 一隆 先生 本校在職18年</p>	<p>一人一人が少しずつ我慢をすることで、より良い学校生活が創り上げられます。互いに認め合い、助け合って、それぞれの得意なことを出し合ってほしいです。今までの当たり前は当たり前ではありません。ここにいる先生方や保護者が君たちのことを、君たちの将来を一生懸命考えてくれています。それを分かってもらえると嬉しいです。また、勉強することは昨日の自分を超越することです。他人と比べるのではなく、昨日の自分自身と比べて、自らの成長を感じてみて下さい。</p>
<p>保健体育科 旧2学年 本田 貴志 先生 本校在職8年</p>	<p>(体育委員長「気をつけ！休め！ごきげんよう！」全校生徒「ごきげんよう！」) 今、知的障がいをもつ生徒と一緒に生活しています。君たちには伝わっていたことも、彼らには伝わらず、一つ一つ丁寧に伝えなければなりません。環境が大きく変わり、戸惑うこともあります。新しい学びがあつて、日々勉強させてもらっています。今まで知らなかったことを知ったり、当たり前だと思っていたことが違うのだと気がついたり、毎日楽しく過ごしています。</p>
<p>国語科 旧1学年 田中 俊文 先生 本校在職4年</p>	<p>君たちは、とても元気が良くて積極的な生徒だなと感じていました。どんなことにも一生懸命になれる姿勢はとても素晴らしいと思います。これからも、その姿勢を保ち、「自由と自治」の校風を守って頑張ってください。</p>
<p>保健体育科 旧3学年 山下 遊 先生 本校在職3年</p>	<p>環境が変わったので、良いことばかりではありません。平昌オリンピックのときに、フィギュアスケートの羽生選手が言っていた言葉を思い出します。怪我を乗り越えて迎えたオリンピック。結果は金メダルでした。そのときに羽生選手は、「きっとこれから辛い時期が来るのだと思います。また良い結果を残せるように堪えたいと思います。」と言っていました。君たちも、これからきっと辛かったり、苦しかったりすることを経験すると思います。それを乗り越えて将来の良い出来事のために頑張ってください。</p>
<p>社会科 時間講師 野球部外部指導員 河野伸二郎 先生</p>	<p>昨年度、7年間かかってやっと教員採用試験に合格して、夢だった学校の先生になることができました。何でこんなに時間がかかったのか、最近になってようやく分かりました。私は、小中高と勉強をほとんどせず、野球選手になりたいという夢のために、野球ばかりしていました。しかし、プロ野球選手にはなれず、夢がなくなり、何を目標に生きていくか迷った時期がありました。自分にできることは何か考えたときに、学校の先生になろうと思立ちました。しかし、これまで勉強をしていなかったため、なかなか採用試験に受からず、苦労しました。日々の勉強はとても大切です。自分の将来のために、今頑張ってください。</p>

表彰の記録

野球部

第3ブロック春季野球大会(4/30) 第3位



卓球部

第42回練馬区中学校春季卓球大会(4/29、5/3)

卓球女子の部 準優勝

女子ダブルス 第1位 吉岡桜子・川村碧子、第2位 木村菜々・岩崎 泉

女子シングルス 第1位 吉岡桜子、第2位 川村碧子、第3位 岩崎 泉、第5位 鈴木律子

バスケットボール部

第57回東京都中学校第3ブロックバスケットボール大会(5/4)

男子 第3位 3ポイントランキング第1位 #7原田夕季叶

女子 優勝 優秀選手賞 #4浜添 綾乃、#7露木 美織

MIP #7露木 美織

3ポイントランキング第1位 #6森本明咲日



バドミントン部

平成30年度練馬区中学校春季バドミントン大会(5/4) 男子団体 第3位

東京都中学校春季バドミントン大会 B(第3、4合同) ブロック予選(5/12) 男子団体 第6位

陸上部

第69回東京都中学校地域別陸上競技大会(5/12)

女子西部共通 走高跳 第6位 記録1m41 鈴木 萌

女子西部2年 100m 第2位 記録12秒94 上田 彩月

男子西部共通 200m 第6位 記録23秒47 藤村 慶弥

男子西部共通 110mH 第4位 記録16秒26 大井 颯人



テニス (小林 千陽)

2018 Verde Cup 山梨北杜ジュニアテニストーナメント春(4/29)

14歳以下女子ダブルス 優勝(他校の選手とのペア)

第44回東京都中学校第3ブロックテニス選手権大会(4/30)

女子シングルス 第2位(都大会進出)

乗馬 (田中葉乃香)

第44回埼玉県親睦馬術大会

第11競技 埼玉県馬術連盟会長杯 第1位

第10競技 初球障害飛越競技 第2位

★今年度も

オリンピック・パラリンピック教育アワード校

として表彰されました(4/12)→

